



# はぐくみ

<編集・発行>

高松市教育委員会教育局

少年育成センター

高松市番町一丁目8番15号

Tel (087) 839-2635

E-mail ikusei@city.takamatsu.lg.jp

## ゲーム・ネット依存対策①

# 『家族でチャレンジ！「ノーメディア」』

近年、ネット依存やゲーム依存が社会問題になっています。利用しすぎて生活に支障をきたしたり、トラブルにまきこまれたりする問題が懸念されています。

そこで、本市における対策の一つとして、小・中学校を対象に、学校・家庭の実態に応じて、メディアの利用を家族で話し合っ

### 【実施内容】

温かい家族との大切な時間を増やすために！

#### ① ワークシート（チャレンジシート）

家族でチャレンジ！「ノーメディア」の実施に合わせて、目標設定を行う。  
保護者依頼文で協力依頼を行い、家庭の実情に合わせて、無理のない取組とする。

#### ② わが家のルール記入用紙

家庭で話し合っ

#### ③ チラシの配布（家族でチャレンジ！「ノーメディア」）

学級活動等で配布して説明する。また、保護者へも周知して、説明と協力依頼を行う。  
家族との大切な時間を増やすために、子どもと協力して一緒にチャレンジする。

#### ④ 各学校での取り組み

P T A総会や学級懇談会、また、学校だよりやP T Aメール等を利用して啓発を行う。  
学校保健委員会で実践例の紹介や議題として取り上げ協議をする。

### 【平成30年度実践しての意見】

- ・「ノーメディア」の取り組みに、ほとんどの家庭で協力して積極的に取組んだ。
- ・家族との会話等の時間が増え、温かい家庭づくりにつながる効果があった。
- ・校区の小中学校区で連携して、多くの家庭全体でテストや行事に合わせて実施できた。
- ・メディアの時間が減り、他にゆとりの時間ができ、早寝早起きもできて嬉しかった。
- ・家族と一緒にでき、普段より意識してできた。
- ・勉強や読書に落ち着いて取組む時間が増えた。
- ・つつい使用して、ルールや目標が守れなかった
- ・家庭の実情により、理解不足や格差があった。
- ・協力依頼や周知の説明が十分でなかった。



# 今年も「情報モラル教育推進事業」に取り組みます

小学校4年生を対象とした情報モラル出前授業も5年目となりました。昨年度の授業ではインターネットの長所と短所・危険な面を知り、安全・安心に利用するために、子どもたちが守るべき3つの約束を確認し意識付けることで家庭でのルール作りにつなげています。また、授業後、保護者に配布するリーフレットでは保護者が行うべき3つの実践を紹介し、家庭でのルール作りが大切だということを訴えています。また、今年度からネット依存・ゲーム障害を早期から防ぐための対策を、出前授業の内容や保護者啓発に取り入れて実施する予定です。このように現在の低年齢化の実態を踏まえ、小学校4年生を対象とした出前授業を核とした情報モラル教育推進事業に継続的に取り組んでいます。

## 情報モラル教育推進事業

### 【目的】

インターネットを利用し始める時期の子ども・保護者を対象に、事業を通して家庭でのルール作りを促し、インターネット利用に係るトラブルや依存の未然防止に努める。

### <取組1>

携帯電話・スマートフォンの持ち始めの時期である**小学4年生を対象とした情報モラル教室の実施**

出前授業の中でルール作りを取り上げ、子どもが主体的にルール作りに取り組めるように配慮する

+

### <取組2>

**情報モラル教室とセットでの保護者啓発リーフレットの配布(子どもを通した保護者啓発)**

出前授業とつなげ、リーフレット内にあるルール作りを子どもから保護者に働きかけることで、関心の薄い保護者にもかかわってもらおう

↓

**家庭でのルール作りへ**

ゲーム機の使用制限機能や携帯電話の具体的なフィルタリングの設定等のペアレンタルコントロールについて記載

出前授業の様子



ネット依存やゲーム障害への注意喚起が叫ばれており、対策が急務となってきています。子どもたちがどのようにインターネットを利用しているかの現状を知ることが大切で、保護者リーフレット等でスマホの使い方や心理・感覚などに目を向けることを呼びかけています。

### ◎子どもたちに見られる現状や傾向に、どれぐらい気づいていますか？

□にチェックを入れて確認してみましょう。

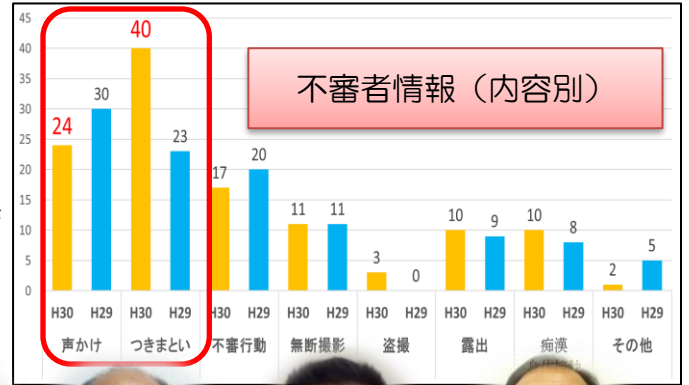
- テレビを見る時間より、ネットを使用している時間の方が長くなっている
- 「スマホばかり」「スマホやめなさい」等の言葉に、ストレスを感じている
- 行動・言動・考え方等にネットから得た情報の影響を受けやすい
- ネット上で金銭やポイントを使う・受け取る・貯めることに違和感がない
- 写真や動画を共有することも、友達とのコミュニケーションになっている
- 1つのSNSに複数のアカウントを持ち、上手に使い分けをしている
- 同じ趣味や共通の話題で共感しあえる人を信用する傾向がある
- 同世代の子のSNSを見て、コンプレックスを感じてしまうことがある
- 都合のいい情報を好み、都合の悪い情報を排除・無視する傾向がある
- 欲しいモノ・やりたいコトの情報に囲まれ、小遣いが足りないと感じている

\*総務省「インターネットトラブル事例集(2018年度版)」より

## 子どもの安全確保活動

不審者情報について

平成30年度に少年育成センターに寄せられた不審者情報は、平成29年度より10件増えて、116件でした。内容は、「つきまとい」「声かけ」が多く、各地域でも見守り活動を継続してお願いします。



## スクールガード・リーダー

＜主な活動内容＞

- ・登下校時の見守り
- ・校内外の安全点検
- ・避難訓練の助言 等

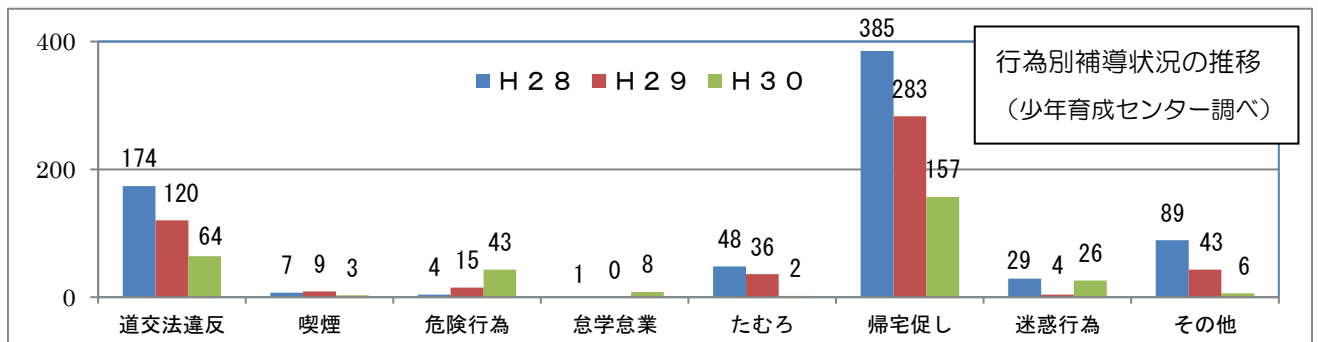


福森 義隆さん 岸上 憲二さん 中川 博志さん 久保 郁也さん

防犯・安全対策の専門家である警察OBの4名の方をスクールガード・リーダーとして委嘱し、市内の幼稚園・こども園・小学校に派遣しています。気軽に声をかけてください。

## 補導活動

少年育成センターでは、職員の外、各地域の少年育成委員や小・中・高の生徒指導の先生方にも御協力をいただき、非行防止のための補導活動を実施しています。グラフにあるように、補導人数は年々減少しており、このような結果は、青少年の健全育成に係わる人々の地道な取組の成果だと考えられます。ただ減少傾向にあるとはいえ、まだまだ、深夜外出をきっかけにトラブルに巻き込まれたり、非行に走ったりする子どもがいることも事実です。今後とも、粘り強く「愛の声かけ」を続けていきましょう。



## 相談活動

友だちや学校生活、子育てのことなどで、困っていることはありませんか？ひとりで悩まず誰かにきいてもらうだけで、気持ちが軽くなったり解決のきっかけになったりすることもあります。

少年育成センターでは、電話（こどもスマイルテレホン）や来所による相談を受け付けています。また、必要に応じて専門機関を紹介しますのでお気軽にご相談ください。

**こどもスマイルテレホン**  
 087-839-2525  
 朝8:30～夜7:00（土・日・祝日・12/29～1/3は休み）  
 …友だち・学校生活のことなど…  
 ひどいだなやまないで  
 だれかにはなしてみよう！  
 きいてもらうだけでも  
 らくになれるよ！  
 高松市少年育成センター

## 高松市少年育成委員委嘱式

令和元年6月5日（水）に、市役所大会議室において、新たに少年育成委員になられた94名の方々に大西市長より委嘱状が手渡されました。子どもたちの健全育成のために街頭補導や啓発活動に取り組んでいただきます。新委員を代表して木太北部小学校教諭の中山三千雄さんが育成委員としての決意を述べられました。

また、永年にわたり少年育成委員として御尽力いただき退任されました11名の方々に、市より感謝状が贈呈されました。



### 感謝状受賞者 (敬称略)

10年以上	松下徹行	前田千歳	熊野和久	
	黒川浩一	安部浩二	森下幹生	大石耕史
5年以上	土屋陽一	上西崇紘	松原道和	高木智

## 育実ちゃん貸し出し

今年度も、高松市青少年健全育成キャラクター・育実ちゃんの着ぐるみの貸出を行っています。健全育成に関する啓発活動で、是非、御利用ください。

詳しくは、少年育成センターHPをご覧ください。少年育成センターまでお問い合わせください。



## 健全育成作品募集

青少年の「非行防止・健全育成」について、理解と認識を深めるため、啓発作品の募集を行います。

- 対象 ◆ 高松市に在住、又は勤務されている方
  - 募集内容 ◆ 「非行防止」や「健全育成」に関わる標語
  - 応募方法 ◆ はがきに住所・氏名・電話番号・標語をご記入の上、送付ください。(1人1点)
  - 応募期間 ◆ 令和元年8月26日（月）～9月13日（金）
  - 送り先 ◆ 〒760-8571 高松市番町一丁目 8-15 高松市少年育成センター作品募集係
- ★入賞作品による作品展開催★

令和元年11月7日（木）～13日（水）瓦町 FLAG8F IKODE 瓦町展示スペース

これまで問題となってきたネット・ゲーム依存について、WHO（世界保健機関）が5月に「ゲーム障害」を病気として正式に認定しました。

また、川崎市では、登校中、十分な見守り活動が行われているにも関わらず、子どもの命が奪われるという痛ましい事件が発生しました。

子どもたちを取り巻く環境は日々変化し、安全・安心で健やかな子どもの成長のためには、家庭・地域・学校・行政がより一層協力して、知恵を絞り対応していく必要があります。今後もそれぞれの立場からの御協力をよろしくお願いいたします。 高松市少年育成センター所長 井村 新一



高松市青少年健全育成  
キャラクター「育実ちゃん」